

動詞の目的語としての不定詞と動名詞

〔イメージの3原則〕

		不定詞の名詞的用法	動名詞
原則1	動作の時間性	未来を指向	過去を指向
原則2	動作の実現性	動作の実現に積極的	動作の実現に消極的
原則3	動詞性・名詞性	動詞性が強い	名詞性が強い

1. 必ず不定詞を目的語に取る動詞

名詞的用法の不定詞は、「未来指向」で「動作の実現に積極的」で「動詞性が強い」。

- ・願望「～することを望む」 ・要求「～することを要求する」 ・決心「～することを決心する」
- ・意図「～するつもりだ」 ・約束「～することを約束する」 ・賛成「～することに賛成する」
- ・援助「～することを援助する」 ・準備「～する準備をする」

<例文>

- ・願望：I want to go to London. : ロンドンに行きたい。
- ・要求：I asked him to open the window. : 彼に窓を開けるように頼んだ。
- ・決心：I decided to quit smoking. : タバコをやめる決心をした。
- ・意図：We plan to hold a party next Sunday. : 次の日曜にパーティーをする予定です。
- ・約束：I promise to pay you back soon. : すぐお金を返すことを約束します。
- ・賛成：We agreed to start a new project. : 新しいプロジェクトを始めることを同意した。
- ・援助：I helped (to) clean her room. : 彼女の部屋を掃除するのを手伝った。
- ・準備：I'm preparing to take the exam. : 試験の準備をしている。

<動詞集>

- ・願望
want (～したい)、hope (望む)、desire (強く望む)、long (切望する)、expect (期待する)
- ・要求
ask (たのむ)、demand (要求する)、beg (請う)、claim (主張する)
- ・決心
decide (決める)、determine (決意する)、choose (選ぶ)
- ・意図
aim (目指す)、plan (計画する)、mean (本気で～するつもりだ)、intend (～するつもりだ)、seek (～しようとする)、endeavor (努力する)、contrive (どうにか～する)、
- ・約束
promise (約束する)、swear (誓う)、guarantee (保証する)
- ・賛成
agree (同意する)、consent (同意する)、refuse (拒絶する)、decline (断る)
- ・援助
help (手伝う)、assist (手伝う)、offer (申し出る)、undertake (引き受ける)、volunteer (進んで引き受ける)
- ・準備
prepare (準備する)、arrange (手配する)
- ・その他：動作性の強い目的語を取る動詞
manage (どうにか～する)、afford (～する余裕がある)、fail (～に失敗する)
pretend (～するふりをする)、learn (～するようになる)

2. 必ず動名詞を目的語に取る動詞

動名詞は、「時間的に過去指向」で「動作の実現に消極的」で「名詞性が強い」。

<例文>

- (1) 時間的に過去指向 : I enjoyed playing tennis. : テニスを楽しんだ。
(2) 動作の実現に消極的
①. 回避 : I always avoid wasting time. : いつも、時間を無駄にするのを避ける。
②. 延期 : I delayed starting the job. : 仕事の開始を遅らせた。
③. 終了 : I finished reading the report. : 報告書を読み終えた。
④. 空想 : I often imagine being rich. : よく、金持ちになることを想像する。
(3) 目的語の名詞性が強い : I practiced playing the piano. : ピアノの練習をした。

<動詞集>

- (1) 過去指向の動詞
enjoy (楽しむ)、appreciate (評価する)、admit (認める)、deny (否定する)、recall (思い出す)
(2) 動作の実現に消極的な動詞
①. 回避
avoid (避ける)、escape (のがれる)、mind (いやだと思う)、resist (抵抗する)
evade (巧みにのがれる)
②. 延期
delay (遅らせる)、postpone (延期する)、put off (延期する)、miss (～しそこなう)
③. 終了
finish (終了する)、stop (やめる)、quit (やめる)、give up (あきらめる)
④. 空想
imagine (想像する)、fancy (空想する)
(3) 名詞性の強い目的語を取る動詞
practice (練習する)

3. 不定詞の目的語と動名詞の目的語とで意味の異なる動詞

「これからすること」：不定詞、「すでにしたこと」：動名詞

- I forgot to lock the door. : ドアをロックするのを忘れた。
I forgot locking the door. : ドアをロックしたことを忘れた。

Please remember to mail the letter. : その手紙を投函するのを忘れないで下さい。
Please remember mailing the letter. : その手紙を投函したということを忘れないで下さい。

I regret to say I can't help you. : お手伝いできないと言わなければならないのが残念です。
I regret saying I couldn't help you. : お手伝いできないと言ってしまったことが残念です。

I tried to talk to her in English. : 彼女に英語で話しかけようとした。
I tried talking to her in English : 彼女に英語で話しかけてみた。

4. 不定詞・動名詞どちらも目的語に取れる動詞

上記1～3に挙げた動詞以外は不定詞・動名詞どちらも目的語に取れるが、不定詞と動名詞のそれぞれのイメージにしたがって英文を作ることが大切である。たとえば「好き・嫌い」を表す動詞は、過去指向である動名詞を目的語に取るのが自然だ。なぜなら、「何かをすること」が「好き」または「嫌い」と言う場合、普通はその「何か」を過去において経験しているからである。逆にあえて未来指向の不定詞を目的語にした場合は、好き・嫌いの意味にプラスして、「何かを」したい・したくない、という願望のニュアンスが含まれることになる。